

ふく料理「春帆楼 難波店」2010年3月2日に新規オープン！
～ なんばダイニングメゾン(高島屋大阪店内) ～

「春帆楼(しゅんばんろう)」(本店:山口県下関市)は、2010年3月2日に「なんばダイニングメゾン9階(高島屋大阪店内)」にふく料理・季節料理「春帆楼 難波店」をオープンします。

「春帆楼 難波店」では、創業140余年の伝統の味と巧の技を、「とらふく薄造り」※や「とらふくちり鍋」などのふく料理はもちろん、桜鯛や鱧など旬の食材を使った料理にも生かしてご提供します。老舗の味を萩焼・有田焼などの彩りある伝統の器でお楽しみいただけます。客席は個室の他、スクリーンなどを活用した半個室も用意し、ゆっくりとした時間を過ごせるようになっています。

(※「ふく」…下関では、河豚(ふぐ)を“福”に通じるということで「ふく」と呼びます。)

「春帆楼」は、明治21年、伊藤博文が「ふく料理」を「春帆楼 下関本店」で食したことをきっかけに、日本のふく料理公許第1号の栄誉を担いました。同28年には日清戦争の講和談判会場となり、その名は全国に知られるようになりました。以降、山口下関の迎賓館として今日に至っています。



【店舗外観】

店舗入口の金色の屋根(画像中央)は、春帆楼下関本店をイメージ。
なまこ壁(画像左側)と土塀(画像右側)は、山口県の萩や下関の長府といった城下町のイメージ。



【店内(全40席中34席)】

半個室とソファ席があり。
多様なニーズにお応えします。



【店内(全40席中6席/個室1室)】

春帆楼下関本店で行われた
「日清講和条約調印式」の会場をイメージ。

【「春帆楼 難波店」概要】

店舗名： 春帆楼 難波店

オープン日時： 2010年3月2日(火) 11:00

住所： 大阪府大阪市中央区難波5丁目1番18号
高島屋大阪店内 なんばダイニングメゾン9階

営業時間： 11:00～15:00、17:00～23:00(L.O. 21:30)

TEL： 06-6633-3629

座席数： 40席(半個室・ソファー席など36席、個室1室6席)



■ランチタイム(11:00～15:00)

・ふく弁当 3,150円

珍味(鯛わた)／造り(とらふく薄造り)／前菜／焚合／揚物／
蒸物／ご飯／味噌汁(ふく味噌汁 下関風)／香の物／水菓子

・ふく会席 5,250円

・季節のお弁当 3,150円

・桜鯛会席 5,250円



■ディナータイム(17:00～23:00、L.O. 21:30)

・ふく会席 5,250円

食前酒／先付／前菜／椀物／造り(とらふく薄造り)／鍋物／揚八寸／
酢物／とらふく寿司／味噌汁(ふく味噌汁 下関風)／水菓子

・ふく会席 8,400円

・桜鯛会席 5,250円

・桜鯛会席 8,400円

・ふくコース 10,500円、13,650円、18,900円



※献立は季節・仕入れによって異なる場合があります。写真はイメージです。

＜お問い合わせ先＞

【2010年2月16日以降のお問い合わせ】

「春帆楼 難波店」店長 高木秀徳
TEL:06-6633-3629

【2010年2月15日迄のお問い合わせ】

株式会社春帆楼
業務部 企画チーム 横田雄一
TEL:03-3435-3437

春帆楼 HP <http://www.shunpanro.com/>

◆参考資料

～春帆楼の歴史～

【伊藤博文との深い縁】

豊前中津奥平藩の御殿医であった藤野玄洋が、現在春帆楼がある下関市阿弥陀町の地に明治10年月波楼医院として開業したのが春帆楼の前身です。その後、明治14～15年頃に藤野玄洋の妻ミチが、医院を接客用に改装し、中津から奉公人等を集め、料理店兼客館の営業を開始しました。「春帆楼」という屋号は、春畝という雅号を持つ伊藤博文が、春うららかな海の帆船を心に描いて命名しました。



初代内閣総理大臣
伊藤博文公

【ふく料理公許第一号店】

日本では、縄文時代からふくを食べる習慣がありました。しかし、安土桃山時代になり、豊臣秀吉が朝鮮出兵した文禄・慶長の役(1592～1598)の際、攻略の要であった下関で武士達がふくを食べて相次いで死亡したことから、豊臣秀吉が「河豚食用禁止の令」を發布、ふく食は禁止されてしまいました。

長らく禁止されていたふく食を復活させたのは、初代総理大臣・伊藤博文でした。今から120年前の1888年(明治21年)、伊藤博文が、春帆楼に立ち寄った際、海が時化(シケ)続きで魚がまるで捕れず、困り果てた女将は、手討ち覚悟で止むを得ずふくを御前に出しました。伊藤博文はこの旨さに驚き「一身よく百味の相をととのえ」と絶賛されました。そして翌年、「調理さえ心がければ」との条件つきで禁令を解き、それ以来、春帆楼は「ふく公許一号の店」として、広く知られるようになりました。



春帆楼本店外観

【日清講和条約(下関条約)締結の地】



日清講和条約調印式

1895年(明治28年)3月、日清講和条約の会場選びは、長崎、広島など幾つかの候補地があげられていましたが、伊藤博文が「下関の春帆楼で」と発表し決定。世界の外交史に名を連ねる日清講和条約(下関条約)は、当時の春帆楼2階の大広間で開催されました。こうして春帆楼は、世界史に名を残し、明治・大正期を通じて皇族や多くの政財官界要人、内外の顯官貴賓が足を運び、鉄道唱歌(九州山陽30番)の歌詞(「♪世界にその名いと高き馬関条約結びたる春帆楼の跡とひて昔しのぶもおもしろや」)や、司馬遼太郎の小説「竜馬がゆく」の文中でも紹介されるなど、下関の迎賓館として、各界著名人に愛されています。

■春帆楼の概要

【サービス】 宿泊・宴会・ブライダル・ふくフルコースを始め海鮮会席などのお食事・店舗展開・
ふく料理セットの宅配・PB商品の展開

【経営】 オリックスグループ 株式会社春帆楼

●その他の店舗

・「春帆楼」下関本店

住所： 山口県下関市阿弥陀寺町4-2

連絡先： TEL 083-223-7181 / FAX 083-232-7980

施設： 宴会場2室、客室数10室(ご宿泊50名様)

<百貨店でのレストラン展開>

・「春帆楼」松坂屋名古屋店

住所： 愛知県名古屋市中区栄3-16-1 松坂屋名古屋店南館10階

連絡先： TEL 052-264-3828 / FAX 052-262-6330

座敷・席数： 大小座敷(5室)、テーブル席(40席)

・「春帆楼」近鉄阿倍野店

住所： 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 近鉄阿倍野店 10階

連絡先： TEL 06-6625-2378 / FAX 06-6623-1692

座敷・席数： 大小座敷(3室)、テーブル席(32席)

・「春帆楼茶寮」玉川高島屋 S・C 店

住所： 東京都世田谷区玉川 3-17-1 玉川高島屋 S・C 南館 9階

連絡先： TEL & FAX 03-3709-7200

席数： テーブル席(34席)

・「春帆楼茶寮」下関大丸店

住所： 山口県下関市竹崎町 4-4-10 下関大丸 7階

連絡先： TEL 083-235-8029 / FAX 083-235-8029

席数： テーブル席(44席)

<ホテル内>

・「春帆楼」広島店

住所： 広島県広島市中区銀山町 10-17 ブルーウェーブイン広島内

連絡先： TEL 082-246-4999 / FAX 082-245-2300

座敷・席数： 大小座敷(3室)、テーブル席(44席)

・「春帆楼」小倉店

住所：福岡県北九州市小倉北区浅野 2-14-65 ブルーウェーブイン小倉内

連絡先：TEL 093-531-4000／FAX 093-531-5120

座敷・席数：大小座敷(2室)、テーブル席(32席)

・「風月茶寮」浅草店

住所：東京都台東区浅草2-33-7 ブルーウェーブイン浅草内

連絡先：TEL 03-5828-4321／FAX 03-5828-6421

席数：1階 50席、2階大小宴会場(最大 50名対応)

<デバ地下食品街>

・「春帆楼」高島屋東京店

ふく料理のテイクアウト専門店。イトイン 4席もある人気のデバ地下グルメ。

住所：東京都中央区日本橋 2-4-1 高島屋東京店地下 1階

連絡先：TEL 03-3272-1029／FAX 03-3272-1029